国に対する要望事項

浜松市　NO. 16

国の所管	国土交通省　水管理・国土保全局　　財務省　　内閣府
市の所管	土木部　河川課
事項名	流域治水への財政支援について
要　旨	**（要望内容）** 本市で実施する「流域治水プロジェクト2.0」の対策メニューを計画的かつ着実に推進するため、継続的な補助事業等への予算確保を図るよう要望します。 特に市内で大きな浸水被害がたて続けに発生しており、令和４年９月の台風15号では市内一円で警戒レベル５緊急安全確保が発令され、近年最大となる約２千棟の家屋浸水被害となりました。また、令和５年６月には、台風２号に伴う豪雨により、五反田川の越水や、九領川流域などにおいて、浸水被害が発生しました。 激甚化・頻発化する自然災害から命と暮らしを守るため、一刻も早い河川整備や貯留機能確保等の流域治水対策を行えるよう、国土強靭化実施中期計画の着実な推進に必要な予算を別枠で確保するとともに、災害リスクや地域特性を考慮した予算配分とするよう要望します。。 また、「緊急自然災害防止対策事業債」の期間を延長し、流域治水対策を引き続き強力に支援するよう要望します。

流域治水への財政支援

1．国土強靭化実施中期計画の推進に必要な予算を別枠で確保するとともに、災害リスクや地域特性を考慮した予算配分とすること
2．「緊急自然災害防止対策事業債」の期間延長

■令和4年9月 台風15号　等

台風第15号等により、[illegible]で警戒レベル5（緊急安全確保）

■令和5年6月 台風2号に伴う豪雨

6月[illegible]に[illegible]の累積雨量556mmを観測





















[illegible]の浸水被害により令和4年台風15号や令和5年台風2号と[illegible]被害に[illegible]
[illegible]から命を守るため、必要な予算確保及び[illegible]

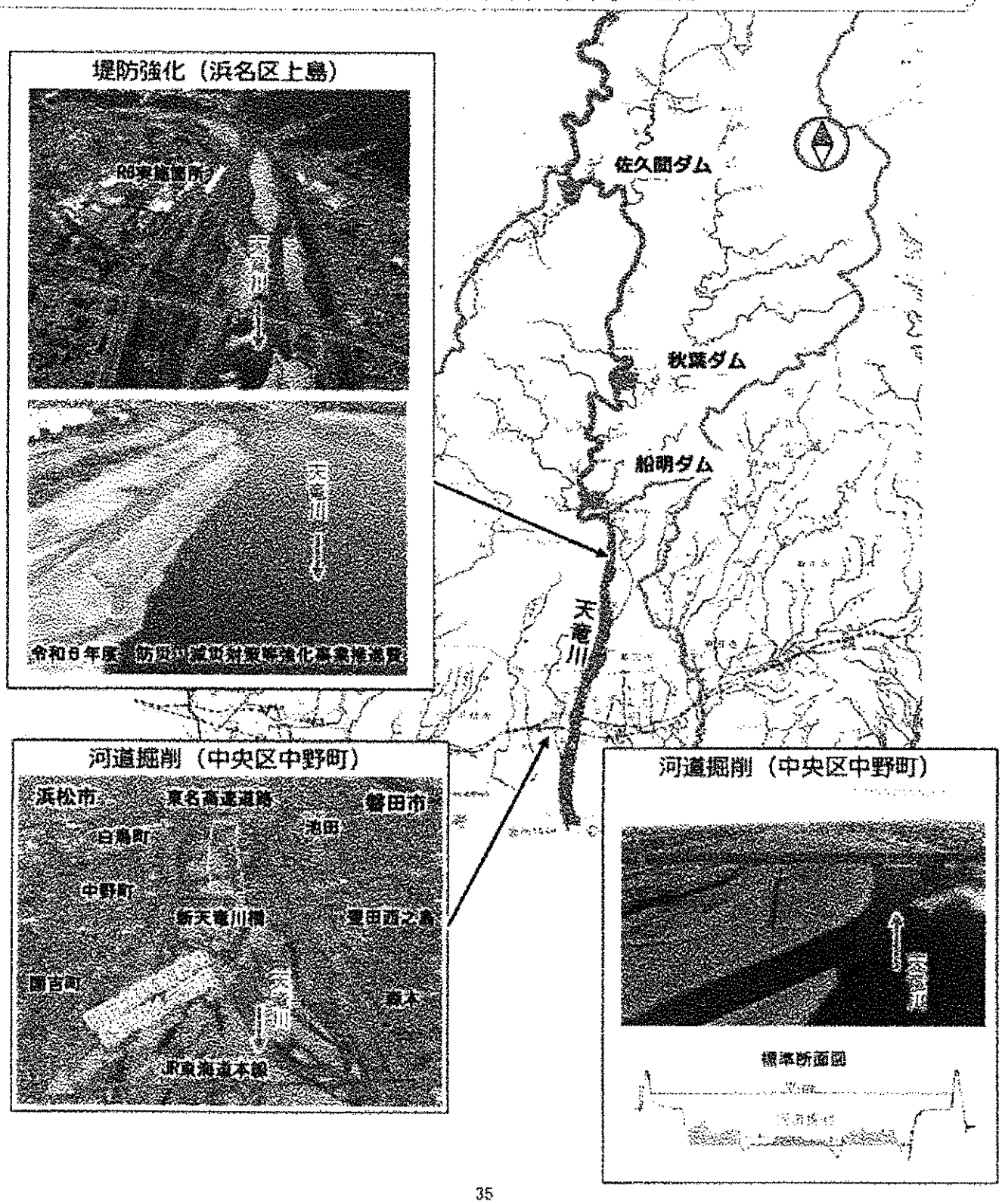
国に対する要望事項

浜松市　NO. 17

国の所管	国土交通省　水管理・国土保全局　　財務省　　内閣府
市の所管	土木部　河川課
事項名	天竜川の河川事業の促進について
要　旨	**（要望内容）** 「天竜川（下流）水系流域治水プロジェクト２.０」の対策メニューに位置付けられた天竜川の堤防強化や河道掘削、樹木伐採など、必要な予算を確実に確保するとともに更なる河川事業の促進及び加速化を図るよう要望します。 また、河道掘削で発生した土砂は遠州灘海岸侵食抑制のための養浜事業へ活用し、静岡県が継続的に実施している養浜事業に対して助成を図るよう要望します。 さらに、大規模自然災害発生時において自治体職員だけでは対応が困難な場合に、被災した自治体の支援を行う「ＴＥＣ－ＦＯＲＣＥ」の体制・機能の拡充・強化を図るよう要望します。

天竜川の河川事業の促進

「天竜川（下流）水系流域治水プロジェクト2.0」の対策メニュー
1．治水事業全体の必要な予算確保
2．堤防強化や河道掘削などの河川事業の促進及び加速化
3．ＴＥＣ－ＦＯＲＣＥの体制・機能を拡充・強化



国に対する要望事項

浜松市　NO. 18

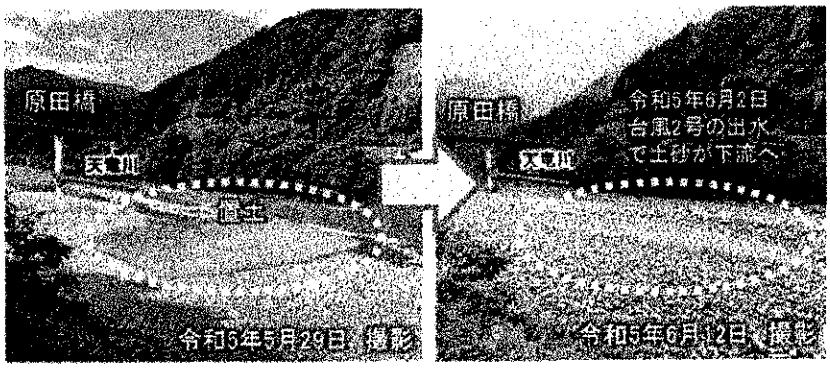
国の所管	国土交通省　水管理・国土保全局　　財務省　　内閣府
市の所管	土木部　河川課
事項名	天竜川ダム再編事業の促進について
要　旨	**（要望内容）** 佐久間ダムの集水面積は天竜川流域全体の約75%を占めています。これまで利水専用ダムであった佐久間ダムへ新たに洪水調節機能を確保することは天竜川中下流部の治水対策の要です。 また、ダム貯水池への堆砂を抑制する恒久的な堆砂対策を実施することにより、土砂移動の連続性が確保され、遠州灘海岸の侵食抑制にも効果が期待できます。 「天竜川（下流）水系流域治水プロジェクト2.0」の対策メニューに位置付けられた天竜川ダム再編事業の促進及び加速化を図るよう要望します。

天竜川ダム再編事業の促進

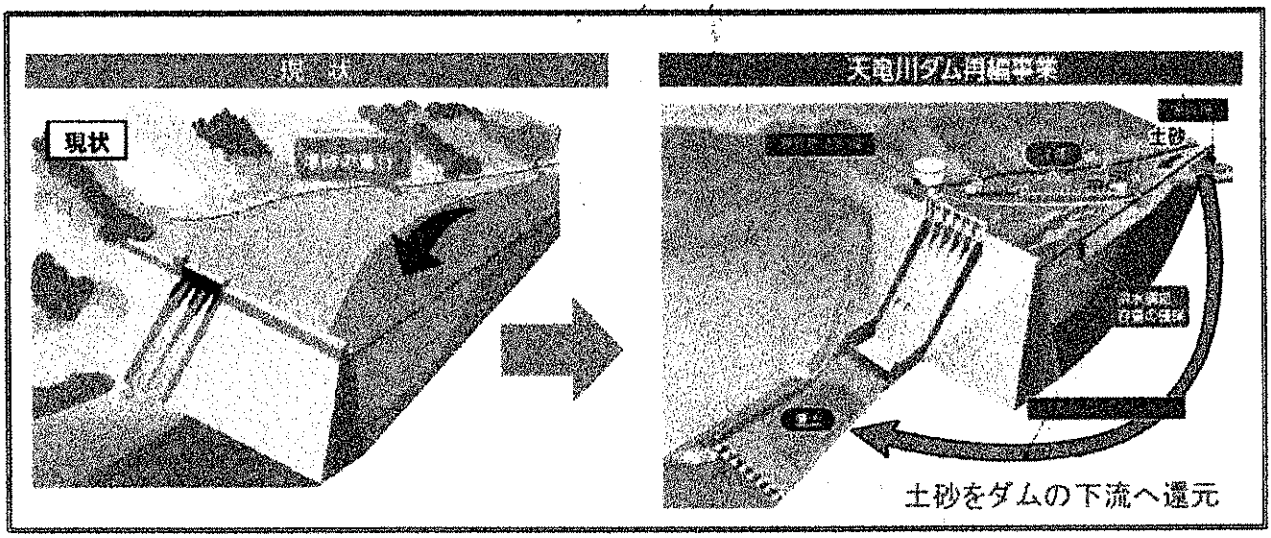
「天竜川（下流）水系流域治水プロジェクト2.0」の対策メニュー
・佐久間ダムの洪水調節に必要な施設及び恒久的な堆砂対策施設の整備を促進し、早期に洪水調節及び土砂移動の連続性を確保



ダム下流工事道路の整備

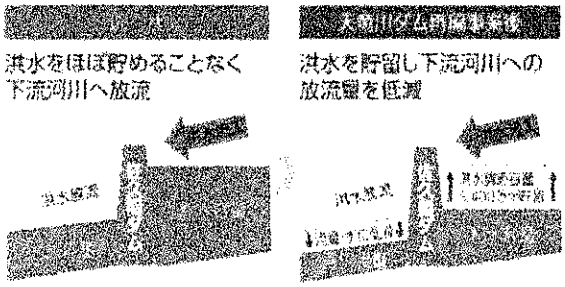


置土による土砂還元等を実施



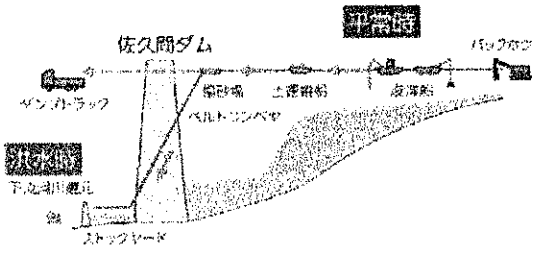
洪水調節

上流域の大雨による洪水をダムへ貯めることにより、下流河川を流れる洪水量を減らして、河川からの溢れや、堤防が壊れることを防ぐ。



恒久的な堆砂対策

平常時にダム発生土をダム下流側のストックヤードに運搬・集積して、洪水時にダム放流水を利用し、河川へ還元することにより、遠州灘海岸の侵食を抑制する。



国に対する要望事項

浜松市　NO. 19

国の所管	環境省　財務省
市の所管	環境部　環境政策課
事項名	特定外来生物対策について
要　旨	**（要望内容）** 令和４年５月に改正された「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」では、国の責務として、特定外来生物による生態系等に係る被害の防止のため、地方公共団体の施策の支援に必要な措置を講ずるものとされました。 国では、地方公共団体の取組に対する財政的支援のため、令和５年度に特定外来生物防除等対策事業に係る交付金制度を創設しましたが、交付の対象が生態系や人の生命・身体への被害を防ぐための事業とされており、農作物や家屋への被害など、財産の保護を目的とする事業は対象となっていません。 本市では、特定外来生物クリハラリス、ヌートリア、アライグマの防除を進めており、クリハラリスについては、本交付金を活用して対策を実施します。しかし、市内で生息が年々拡大しているヌートリア、アライグマについては、被害が農業や生活環境に限定されることから、交付の対象に該当せず、支援を受けられない状況にあります。 つきましては、法の趣旨に則り、生態系や人の生命・身体への被害のみならず、農業被害や生活環境被害の防止のためにも交付金を利用できるよう、対象事業を見直すとともに、予算を増額することを要望します。

環境省

令和７年９月１７日

令和８年度予算に関わる

要　望　書

１　特定外来生物対策について

２　多頭飼育崩壊への対応について

浜松市議会 自由民主党浜松

国に対する要望事項

浜松市　NO. 1

国の所管	環境省　財務省
市の所管	環境部　環境政策課
事項名	特定外来生物対策について
要　旨	**（要望内容）** 令和４年５月に改正された「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」では、国の責務として、特定外来生物による生態系等に係る被害の防止のため、地方公共団体の施策の支援に必要な措置を講ずるものとされました。 国では、地方公共団体の取組に対する財政的支援のため、令和５年度に特定外来生物防除等対策事業に係る交付金制度を創設しましたが、交付の対象が生態系や人の生命・身体への被害を防ぐための事業とされており、農作物や家屋への被害など、財産の保護を目的とする事業は対象となっていません。 本市では、特定外来生物クリハラリス、ヌートリア、アライグマの防除を進めており、クリハラリスについては、本交付金を活用して対策を実施します。しかし、市内で生息が年々拡大しているヌートリア、アライグマについては、被害が農業や生活環境に限定されることから、交付の対象に該当せず、支援を受けられない状況にあります。 つきましては、法の趣旨に則り、生態系や人の生命・身体への被害のみならず、農業被害や生活環境被害の防止のためにも交付金を利用できるよう、対象事業を見直すとともに、予算を増額することを要望します。

国に対する要望事項

浜松市　NO. 2

国の所管	環境省
市の所管	健康福祉部　動物愛護教育センター
事項名	多頭飼育崩壊への対応について
要旨	**（要望内容）** 昨今、全国的にも問題となっている動物の多頭飼育崩壊の現状は動物にとっても飼養者にとっても不幸の極みと言っても過言ではありません。 動物愛護管理法においては、多頭飼育についての言及もなく、行政の立ち入り等、規制についての記述もありません。現状では、多頭飼育崩壊に陥った事例には、地域自治会やボランティアが解決に向けて尽力しています。 そのため、地方自治体が解決に向けた取り組みができるように、動物愛護管理法に多頭飼育崩壊に関する規定を盛り込むことを要望します。

内閣官房／内閣府

令和７年９月１７日

令和８年度予算に関わる

要　望　書

浜松市議会 自由民主党浜松

内閣官房

拉致被害者および特定失踪者問題の解決に向けて

内閣府

1　外国資本による土地売買の規制に関する法整備について

2　女性相談支援員の処遇改善について

3　浜松市の国土強靱化について

4　国道１号浜松バイパス（長鶴～中田島）の事業推進について

5　三遠南信自動車道の整備促進と国道152 号現道改良区間の事業推進について

6　浜松湖西豊橋道路の早期事業着手について

7　災害に強い道路ネットワーク機能強化の推進について

8　防災・減災、国土強靱化の推進について

9　遠州鉄道鉄道線耐震化事業への財政支援について

10　流域治水への財政支援について

11　天竜川の河川事業の促進について

12　天竜川ダム再編事業の促進について

国に対する要望事項

浜松市

国の所管	内閣官房　拉致問題対策本部
市の所管	市民部　市民生活課
事項名	拉致被害者および特定失踪者問題の解決に向けて
要　旨	**（要望内容）** 北朝鮮による拉致問題について、平成14年の日朝首脳会談で日本人拉致被害者5人の帰国が実現してから23年が経過します。石破政権においても引き続き最重要課題としていますが、今もって進展がみられない状況にあります。 拉致被害者の家族の高齢化も進み、忍耐は限界に達しており、拉致の可能性を排除できない浜松市出身の河嶋功一さんの拉致被害者認定も含め、拉致問題の一刻も早い解決および特定失踪者の真相究明を要望します。

国に対する要望事項

浜松市　NO. 1

国の所管	内閣府
市の所管	市民部　市民生活課
事項名	外国資本による土地売買の規制に関する法整備について
要　旨	**（要望内容）** 我が国の大切な資産である土地の売買に関して、外国人や外国法人が何の制限もなく日本人と同様に土地を所有できることとなっています。 「重要土地等調査規制法」で指定された航空自衛隊基地周辺や原子力発電所周辺でも、調査は行われますが、直接的な購入規制は存在しない状態でもあります。 土地の取引に関する規制や土地の管理体制を構築するための法整備を強く要望します。

国に対する要望事項

浜松市　NO. 2

国の所管	内閣府　男女共同参画局
市の所管	市民部　UD・男女共同参画課
事項名	女性相談支援員の処遇改善について
要　旨	**（要望内容）** 雇用等における男女共同参画の推進に向け、国では男女の賃金格差や非正規雇用労働者への待遇改善に取り組んでおります。 しかしながら、現実としては全国の女性センターなどて相談業務にあたる相談員には、法律等も含めた幅広い専門性や資格が求められていますが、現状では契約が単年度契約の場合が多くあります。女性相談支援員の約８割が非常勤職員であるというデータもあり、雇用の不安定さを抱えています。 令和４年５月「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」の施行に伴う、困難を抱える女性への相談事業の充実のためにも女性相談員の雇用の正規化や配置人員の増加などの処遇改善を要望します。 また、能力ある若い人材の育成に向けた制度の確立も併せて要望します。

国に対する要望事項

浜松市　NO. 3

国の所管	国土交通省　　財務省　　内閣府
市の所管	土木部　道路企画課
事項名	浜松市の国土強靭化について
要　旨	**（要望内容）** 防災・減災は喫緊の課題であり、太平洋沿岸に位置する南部地域においては、南海トラフ巨大地震発生時に最大震度７が想定されていることや、近年の度重なる豪雨による平地部での浸水被害、中山間地域での土砂崩れが多発していることなど、本市における災害リスクは極めて高い状況です。 また、加速度的に老朽化が進行する膨大なインフラ施設を適正に維持管理することが必要であることから、市民の皆様が安全・安心に暮らせるまちの実現に向けた国土強靭化施策の更なる加速化・深化を図ることが急務であるため、国土強靭化実施中期計画の着実な推進に必要な予算を別枠で確保するとともに、災害リスクや地域特性を考慮した予算配分とするよう要望します。 さらに、資材価格などの上昇に対応する中でも、地域が必要とする事業の実施や維持管理が計画的かつ長期安定的に進められるよう、新たな財源の創設等により、令和８年度当初予算の所要額を満額確保するよう要望します。

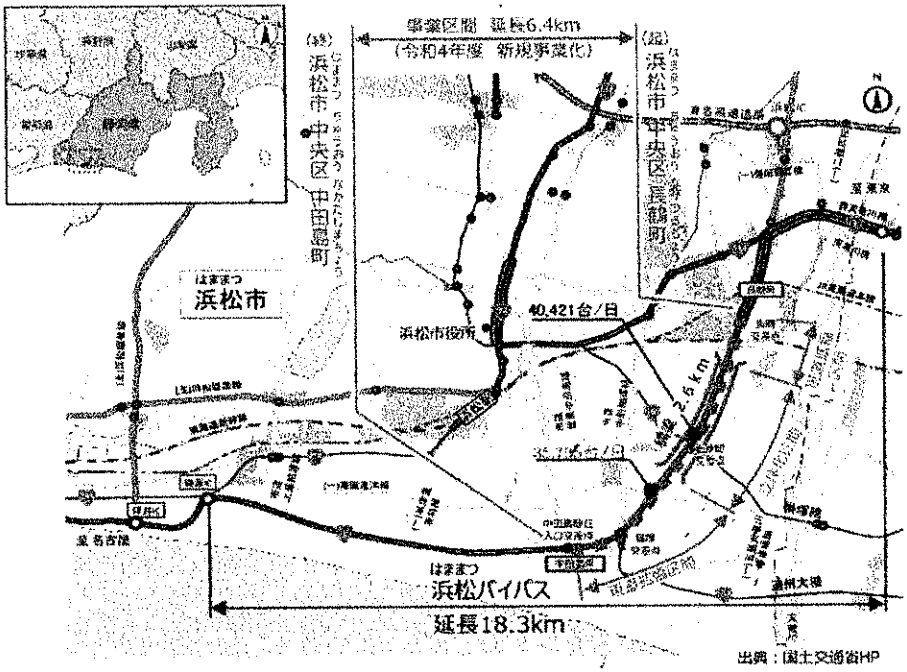
国に対する要望事項

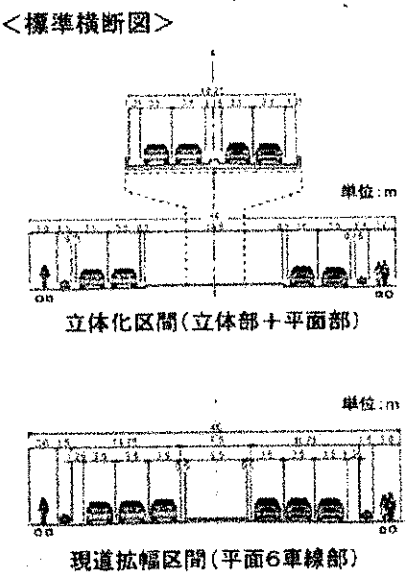
浜松市　NO. 4

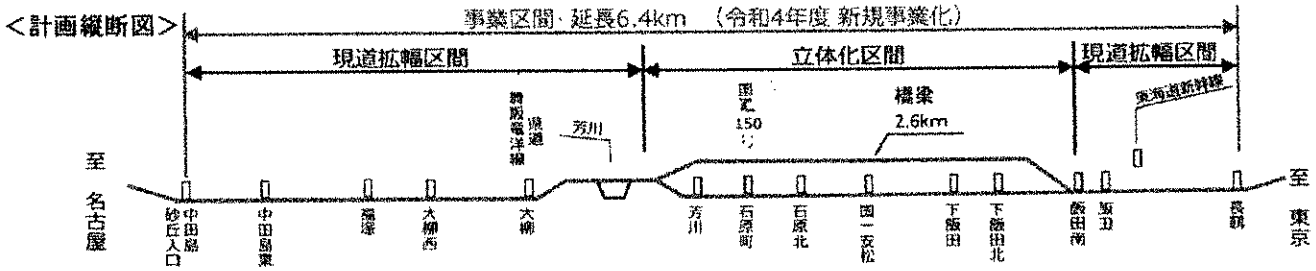
国の所管	国土交通省　道路局　　財務省　　内閣府
市の所管	土木部　道路企画課
事項名	国道１号浜松バイパス（長鶴～中田島）の事業推進について
要　旨	**（要望内容）** 国道１号浜松バイパスは、東西の地域を連絡するとともに本市の環状機能を担う重要な道路です。 国道１号浜松バイパス（長鶴～中田島）では、立体化や現道拡幅が計画されており、物流の速達性向上による産業活性化支援や渋滞緩和による地域交通の円滑化、交通事故の削減など、大きな整備効果が期待されます。 道路や橋梁の設計が着実に進められており、早期工事着手に向けた地元の期待が高まっています。 本市としても、地域交通の円滑化を図るため、交差道路の整備を推進するとともに、本事業が円滑かつ迅速に進められるよう、地域一丸となって対応して参りますので、早期に工事着手を図るよう要望します。

国道１号浜松バイパス（長鶴～中田島）の事業推進

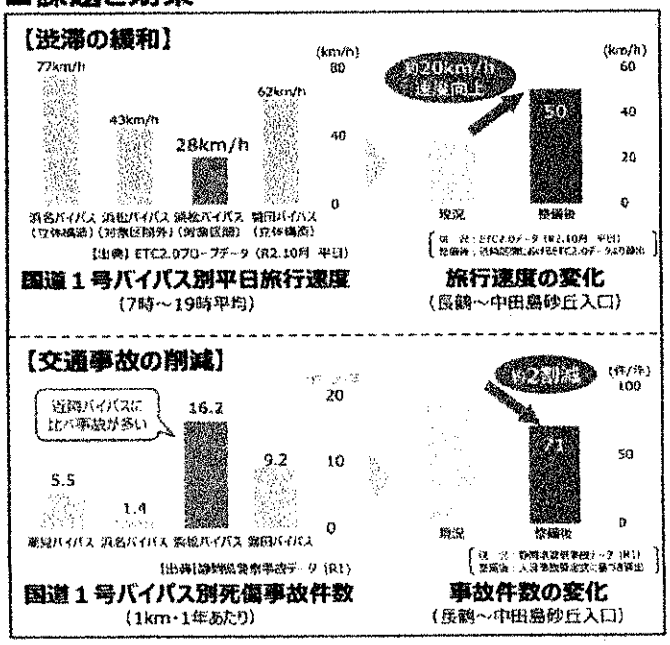
１．国道１号浜松バイパス（長鶴～中田島）の事業推進







■課題と効果



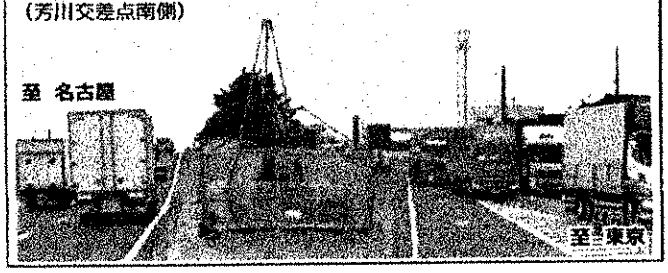
■進捗状況

【事業の流れ】 道路・橋梁の予備設計を継続して実施

新規事業化	予備設計 地質調査	設計説明	詳細設計	工事説明	工事	完成（開通）
R4	R4～					

早期の工事着手

地質調査状況
（芳川交差点南側）



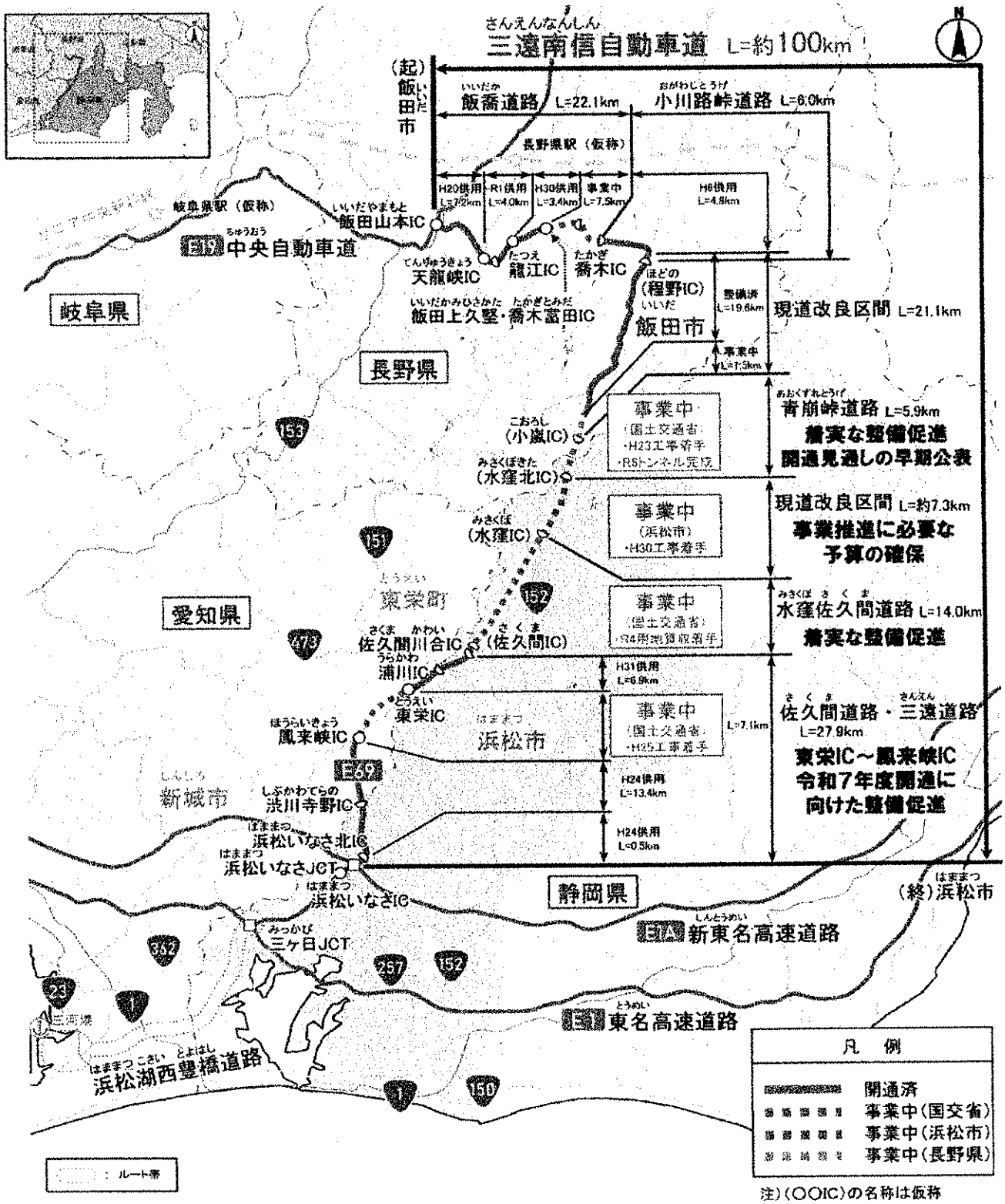
国に対する要望事項

浜松市　NO.5

国の所管	国土交通省　道路局　　財務省　　内閣府
市の所管	土木部　道路企画課
事項名	三遠南信自動車道の整備促進と国道152号現道改良区間の事業推進について
要　旨	**（要望内容）** 三遠南信自動車道は、三遠南信地域を結ぶ地域連携の基軸であり、広域交流や物流の活性化、災害時の“命の道”として、信頼性・安定性の高い道路ネットワークを構築する重要な道路です。 現在、佐久間道路・三遠道路の東栄ＩＣ～鳳来峡ＩＣ間では、令和７年度の開通に向け工事が推進され、水窪佐久間道路では、工事着手に向けた調査設計・用地取得が進められています。さらに、静岡・長野県を結び、難所である青崩峠道路では、令和７年３月２日に青崩峠トンネル（仮称）の工事完成式が開催されるなど、全線開通に向けた地元の期待がこれまで以上に高まっています。 引き続き、国土強靭化の取組みを進めるための予算を別枠で確保し、三遠南信自動車道の整備促進を図るとともに、本市における国道152号現道改良区間の事業が計画的かつ着実に進められるよう、必要な予算の確保を要望します。 また、青崩峠道路については、開通見通しを早期に示すよう要望します。

三遠南信自動車道の整備促進と国道１５２号現道改良区間の事業推進

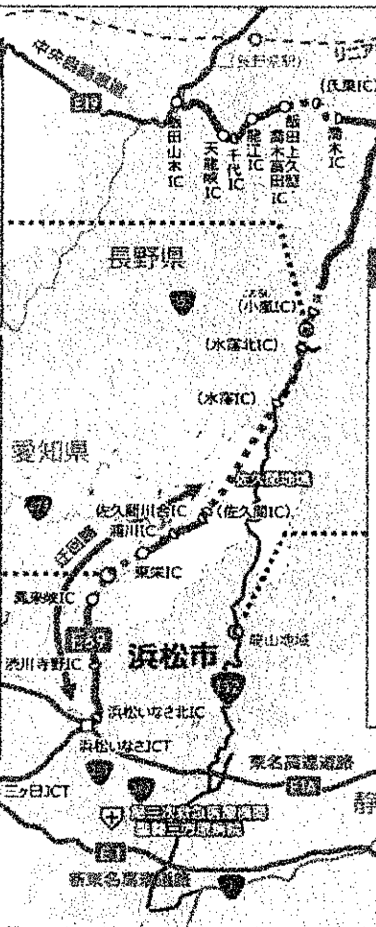
1．三遠南信自動車道の整備促進と青崩峠道路の開通見通しの早期公表
2．国道152号現道改良区間の事業推進に対する予算確保



注）(○○IC)の名称は仮称

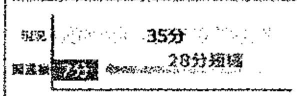
三遠南信自動車道の整備促進と
国道１５２号現道改良区間の事業推進

1. 三遠南信自動車道の整備促進と青崩峠道路の開通見通しの早期公表
2. 国道152号現道改良区間の事業推進に対する予算確保



広域交流・連携の促進

県境を越えた地域交流・経済活動の拡大・観光交流の促進に期待



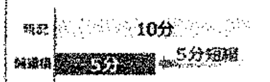


青崩峠トンネル（仮称）
工事完成式記念イベント R7.3.2

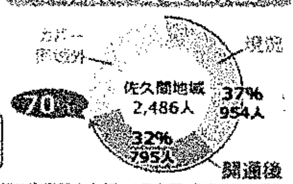
地域医療サービスの向上

佐久間地域から第三次救急医療施設への救急搬送時間が短縮

搬送時の安全性向上や患者への負担軽減も期待



（現　況：延長8.6km,50km/h
※R3センサス旅行速度の平均値を四捨五入
開通後：延長7.1km,80km/h）



【グラフ】R5.10.6事業評価監視委員会資料に住民基本台帳による人口（R7.2）を反映

凡例

- 開通済
- 事業中（国交省）
- 事業中（浜松市）
- 事業中（長野県）

※(○○IC)の名称は仮称

災害時の「命の道」

国道152号が通行止めとなった際に迂回路として機能を発揮

被災年月	被災箇所	通行止日数
H30.3	龍山町瀬尻	223日
R2.7	龍山町大嶺	173日
R5.6	龍山町大嶺	89日
災害による国道通行止め日数		計485日

※龍山地域,H30以降

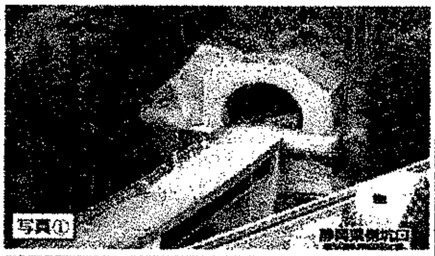
国道152号被災状況（R5.6）



■ 三遠南信自動車道

（小嵐IC）～（水窪北IC）

青崩峠道路
- 青崩峠トンネル(仮称)の本坑が完成（写真①）
- 引き続き、電気・通信設備等の工事を推進



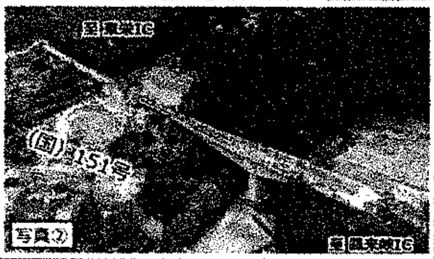
写真①

（水窪IC）～佐久間川合IC

水窪佐久間道路
- 昨年度までに引き続き、本年度も用地買収を推進

東栄IC～鳳来峡IC

佐久間道路・三遠道路
- 令和７年度の開通に向け工事を推進（写真②）



写真②

工事の推進及び早期供用
青崩峠道路の開通見通しの早期公表

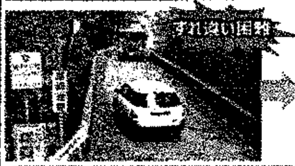
■ 国道152号現道改良区間

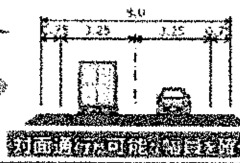
（水窪北IC）～（水窪IC）

時速50kmのサービスレベルを確保



拡幅工事施工状況





対面通行可能な幅員を確保

三遠南信自動車道と一体として計画的かつ着実に進めるために必要な予算の確保

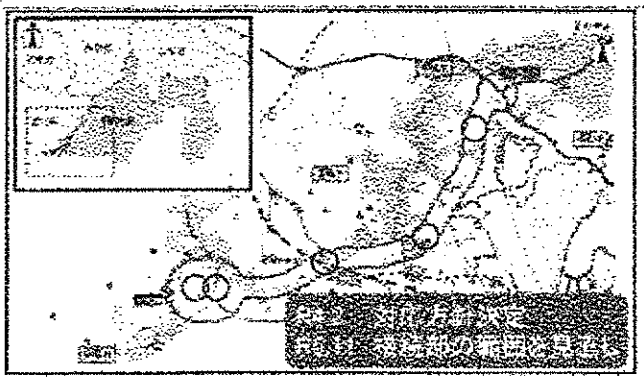
国に対する要望事項

浜松市　NO. 6

国の所管	国土交通省　道路局　　財務省　　内閣府
市の所管	土木部　道路企画課
事項名	浜松湖西豊橋道路の早期事業着手について
要　旨	**（要望内容）** 浜松湖西豊橋道路は、三遠南信自動車道と一体となり、東名・新東名高速道路等といった東西交通の大動脈を、南北につなぐ道路ネットワークを形成し、物流の効率化、広域防災、観光エリア間の連絡性・速達性向上に資する重要な道路です。 本市としても都市計画決定や環境影響評価の手続きを確実に進めて参りますので、早期に事業着手するよう要望します。

浜松湖西豊橋道路の早期事業着手

1．浜松湖西豊橋道路の早期事業着手

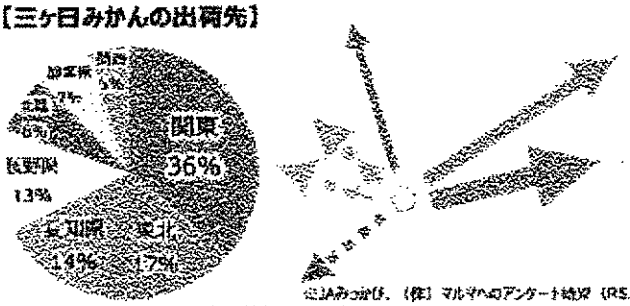


■三ヶ日みかんの出荷拡大・安全性の向上

【三ヶ日みかんの出荷ルート】



【三ヶ日みかんの出荷先】

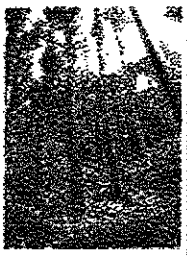


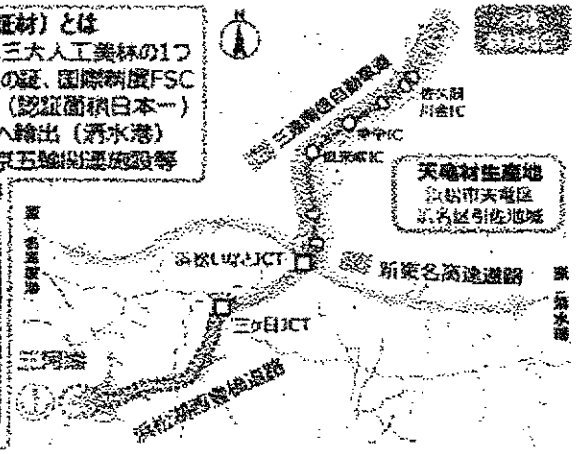
【期待される効果】
- 愛知県内・関西方面への出荷拡大や、三河港から東南アジアへの輸出拡大に期待
- 三ヶ日み荷地を大型車が通ることによる事故リスクの軽減に期待

■速達性の向上 ～「天竜材（FSC認証材）」の海外競争力強化～

天竜材（FSC認証材）とは
- 天竜地域は日本三大人工美林の1つ
- 適切な森林管理の証、国際規格FSC森林認証を取得（認証面積日本一）
- 台湾・ベトナム等へ輸出（清水港）

※使用実績：東京五輪関連施設等





【水窪森林組合～港湾までの所要時間】

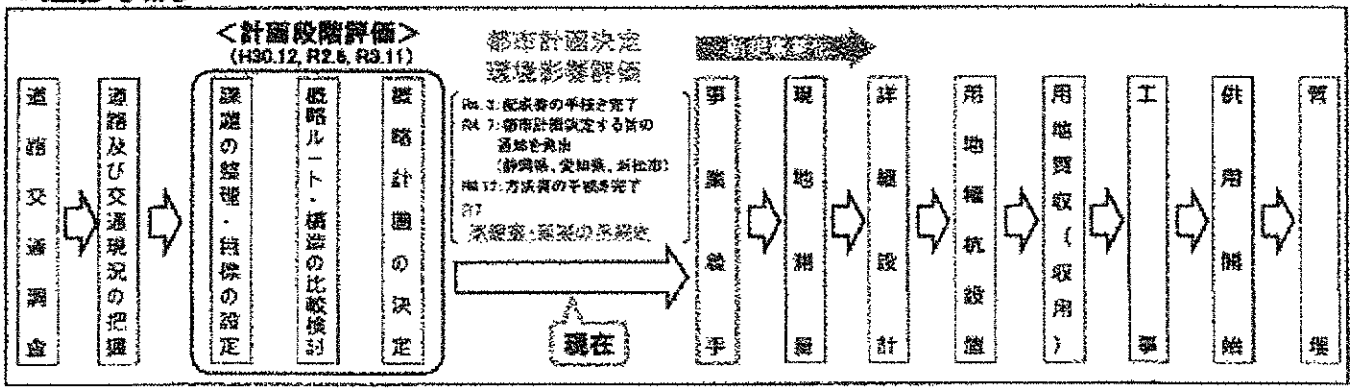
名古屋港	約190分	
清水港	約120分	
三河港	約60分	約60分短縮

0 20 40 60 80 100 120 140 (分)

※所要時間：80km/h走行可能として算出

【期待される効果】
- 天竜材の生産地から、三河港へのアクセス性が向上
- 大幅な輸送コストの削減に期待

■進捗状況



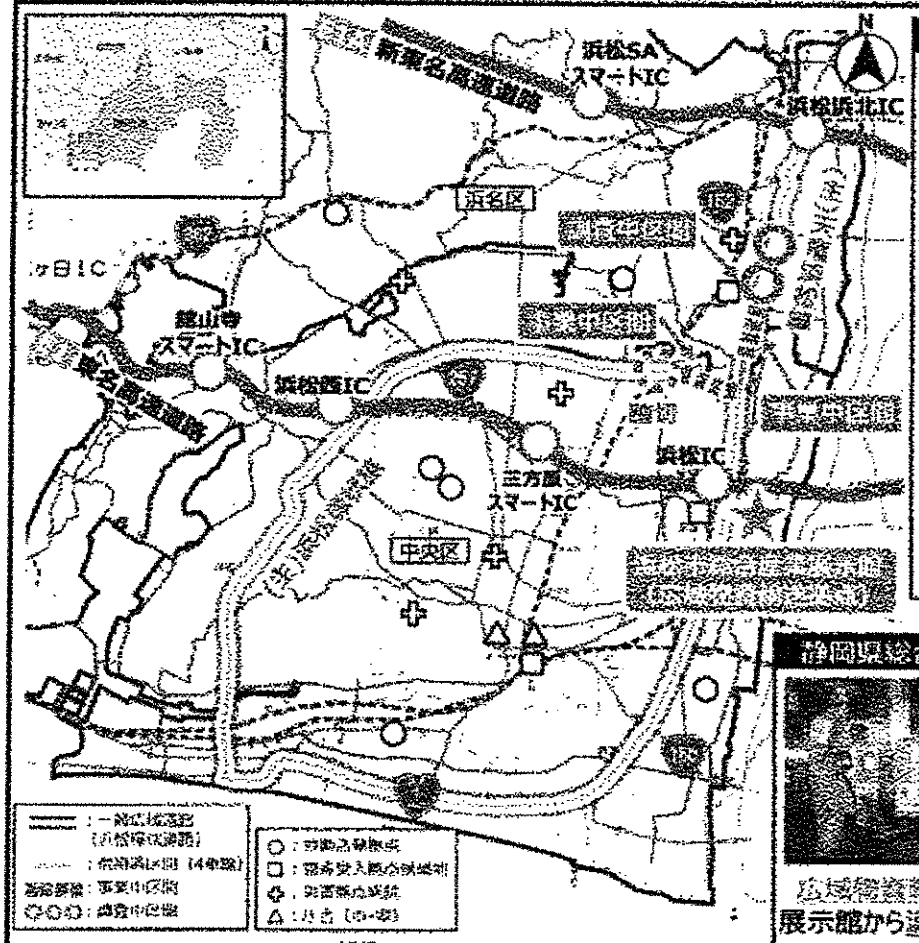
国に対する要望事項

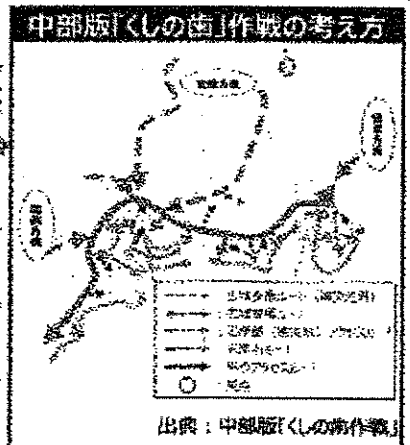
浜松市　NO. 7

国の所管	国土交通省　道路局　　財務省　　内閣府
市の所管	土木部　道路企画課・道路保全課
事項名	災害に強い道路ネットワーク機能強化の推進について
要　旨	**（要望内容）** 本市が事業を推進する主要地方道天竜浜松線及び主要地方道浜松環状線は、一般広域道路「浜松環状道路」の一部を形成し、東名高速道路と新東名高速道路、災害時の広域物資輸送拠点等を連絡する重要な道路であるとともに、主要地方道浜松環状線は、重要物流道路に指定されていることから、物流の更なる円滑化を図る観点からも重要な道路です。 しかし、主要地方道浜松環状線の踏切部は、渋滞のボトルネックかつ、早期の道路啓開が困難な状況であることから、道路の４車線拡幅と併せた鉄道立体交差化が必要です。 このことから、発生が予想される南海トラフ巨大地震や激甚化・頻発化する自然災害から命と暮らしを守る、災害に強い道路ネットワーク機能を強化するため、国土強靭化に資する緊急輸送道路等の整備に必要な予算を確保するよう要望します。併せて、国土強靭化実施中期計画の推進に必要な予算を別枠で確保するとともに、災害リスクや地域特性を考慮した予算配分とするよう要望します。

災害に強い道路ネットワーク機能強化の推進

1．災害に強い道路ネットワーク機能の強化に必要な予算の確保
2．国土強靭化実施中期計画の推進に必要な予算を別枠で確保するとともに、災害リスクや地域特性を考慮した予算配分とすること

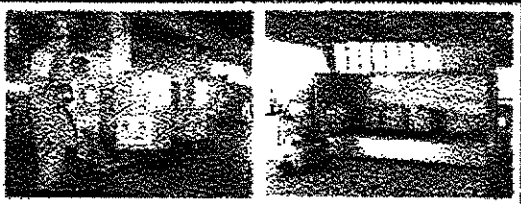




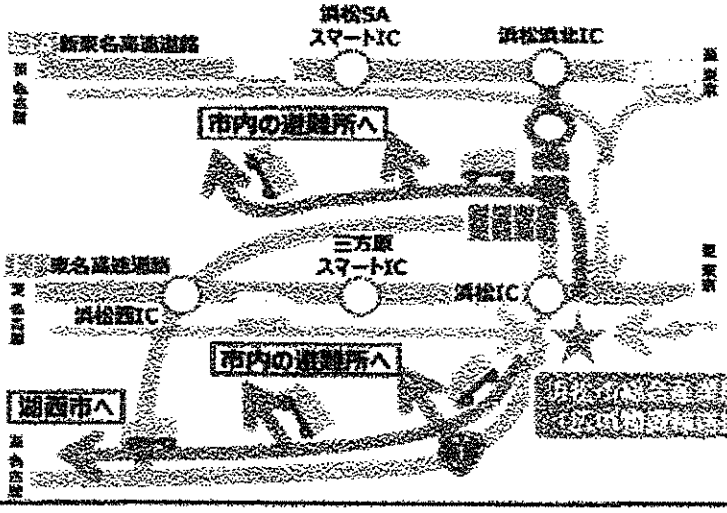
出典：中部版「くしの歯作戦」

（注）大規模地震発生
【主】広域物資輸送拠点から市内への定期的な搬送ルートが構築

静岡県総合防災訓練2023（R5.9.3）



広域物資輸送拠点である浜松市総合産業展示館から浜松市・湖西市へ支援物資を搬送



（注）大規模地震発生時に被災し、通行できなくなるおそれのある区間

広域物資輸送拠点への搬入ルートのダブルネットワークが構築

（注）大規模地震発生時に被災し、通行できなくなるおそれのある区間

広域物資輸送拠点から市内への定期的な搬送ルートが構築

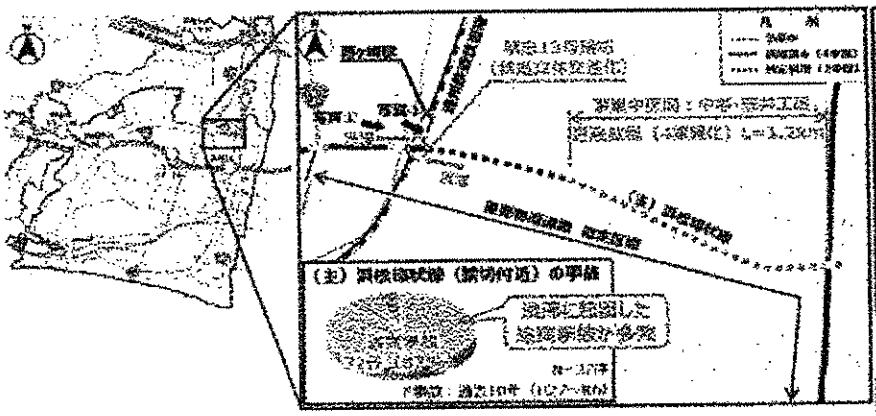
災害に強い道路ネットワーク

切迫する大規模地震や激甚化・頻発化する気象災害から命と暮らしを守る災害に強い道路ネットワーク機能を強化

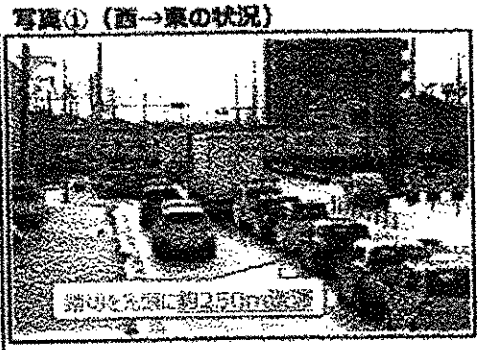
災害に強い道路ネットワーク機能強化の推進

＜踏切部の課題と鉄道立体交差化・4車線化による整備効果＞

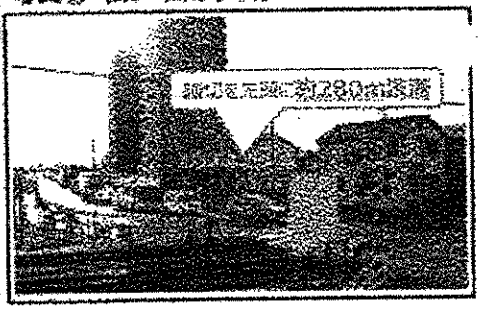
【現況の踏切（積志13号踏切）の課題】



写真①（西→東の状況）



写真②（東→西の状況）



交通課題：踏切がボトルネックとなり、朝夕を中心に慢性的な渋滞が発生
；渋滞に起因して、踏切周辺で交通事故（追突事故）が多発

交通課題：「片側1車線+踏切」構造のため、緊急の道路啓開が困難

道路の4車線化に伴った鉄道立体交差化が必要不可欠

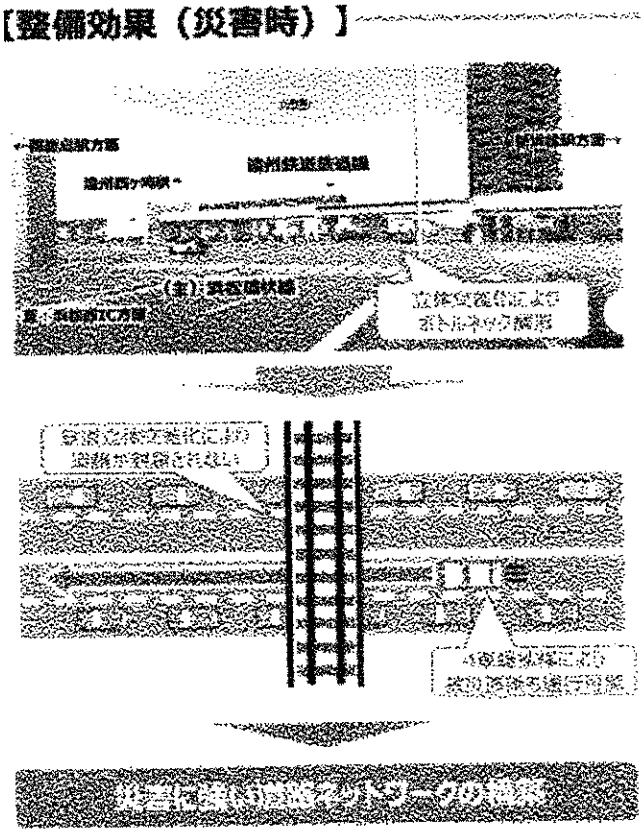
【整備効果（常時）】



ボトルネック（踏切）の解消による渋滞の解消

踏切遮断による渋滞解消及び交通結節機能の強化

【整備効果（災害時）】



代替ルートの確保

国に対する要望事項

浜松市　NO. 8

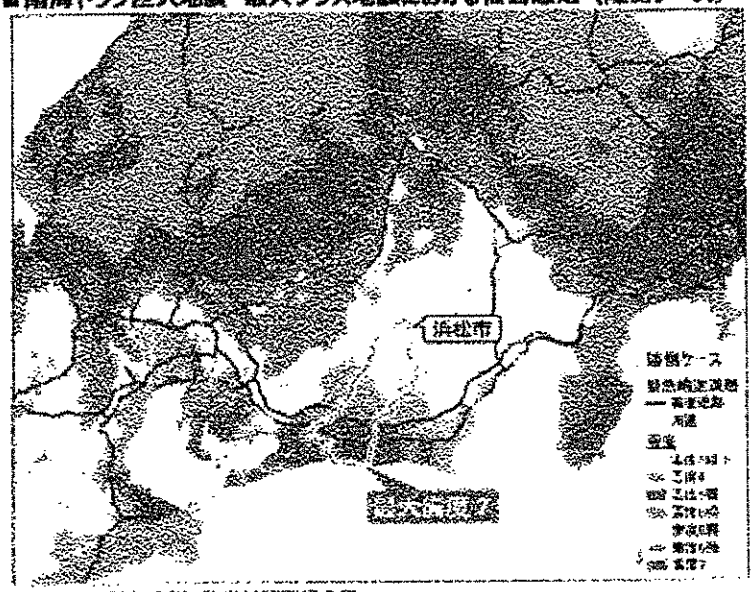
国の所管	国土交通省　道路局　水管理・国土保全局　　財務省　　内閣府
市の所管	土木部　道路企画課・道路保全課　　上下水道部
事項名	防災・減災、国土強靭化の推進について
要　旨	**（要望内容）** 近年、自然災害が激甚化・頻発化するなか、令和６年能登半島地震に加え、昨年８月には日向灘を震源とする地震において政府として初の「南海トラフ地震臨時情報」が発表されるなど、南海トラフ巨大地震発生の切迫性が高まっています。 令和７年３月に内閣府が公表した南海トラフ巨大地震の最大クラス地震における被害想定では、本市は最大震度７、最大津波高 17 mが想定されるなど、甚大な被害が予想されることから、緊急輸送道路等の橋梁耐震化や無電柱化、並びに災害時に持続可能な上下水道システムの構築に向けた耐震化が急務です。 橋梁耐震化対策については、緊急輸送道路に加えて災害対応拠点等までのラストワンマイルを含んだ道路ネットワークの強靭化を目指し、これらネットワーク上の全ての橋梁を対象とした橋梁耐震化の確実な推進が必要であり、無電柱化については、「中部くしの歯作戦」において高速道路と並ぶ最優先路線（STEP1）として選定されている主要地方道浜松環状線の無電柱化を早期に進め、有事における救急救命・物資運搬経路の確保が必要不可欠です。 上下水道システムの耐震化については、令和６年能登半島地震の被害を踏まえ、災害発生時の断水や下水管内の滞水を抑制することによる復旧の短縮化を図るため、急所施設（その施設が機能を失えばシステム全体が機能を失う最重要施設）や市内に 99 施設ある避難所等の重要施設に接続する上下水道管路等の耐震化を計画的かつ早期に推進する必要があります。 また、令和５年６月の台風２号に伴う豪雨では、土砂崩れや路肩崩壊など 100 箇所を超える被害が発生し、本市の中山間地域においては、基軸となる国道 152 号が寸断されたほか、令和６年能登（のと）半島地震における斜面崩落や孤立等の発生と同様の状況が想定されることから、道路斜面対策の更なる推進が必要です。

要旨	道路施設の老朽化対策については、橋梁修繕において１巡目点検結果による事後保全の措置が令和５年度内に完了し、現在は２巡目点検結果における事後保全の早期完了を目指しているため、継続的な予算確保が必要である。加えて、健全性Ⅱが増加していることや、架橋後50年を超過する橋梁は劣化速度が速いため、損傷が軽微なうちに修繕を行う「予防保全型のインフラメンテナンスへの早期転換」が極めて重要です。 また、本市では約8,500kmの道路を管理しており、令和７年１月に埼玉県八潮市において発生した道路陥没事故などの教訓を踏まえると、舗装を適切に維持管理するための修繕も喫緊の課題です。 以上のことから、橋梁耐震化対策、無電柱化、上下水道システムの耐震化、道路斜面対策、及び老朽化対策を強力に推進するために必要な予算を確保するよう要望します。 併せて、国土強靭化実施中期計画の推進に必要な予算を別枠で確保するとともに、災害リスクや地域特性を考慮した予算配分とするよう要望します。 また、大規模自然災害に即応するための地方整備局などの体制強化や必要となる資機材の更なる確保に取り組むよう要望します。

防災・減災、国土強靱化の推進

＜南海トラフ巨大地震の発生が切迫＞

■南海トラフ巨大地震　最大クラス地震における被害想定（陸側ケース）



令和６年元旦
能登半島地震の発生

↓

令和６年８月
南海トラフ臨時情報発表（政府初）

↓

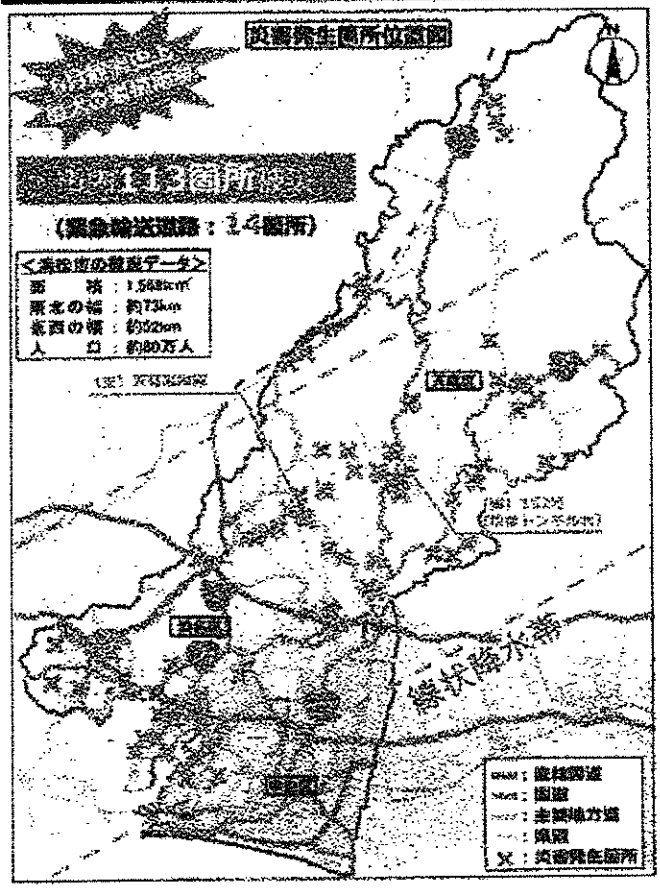
令和７年３月
南海トラフ巨大地震 被害想定 公表
浜松市：震度７，最大津波高17m

↓

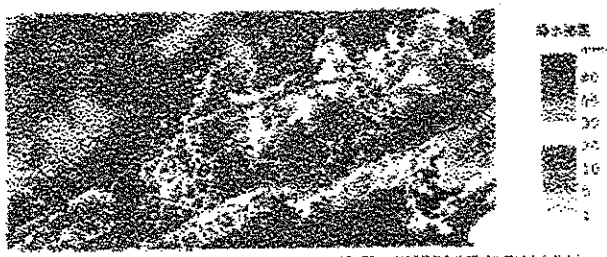
南海トラフ巨大地震の発生が切迫
浜松市は災害リスクが極めて高い

資料：中央防災会議 防災対策実行会議
南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ【令和7年3月】

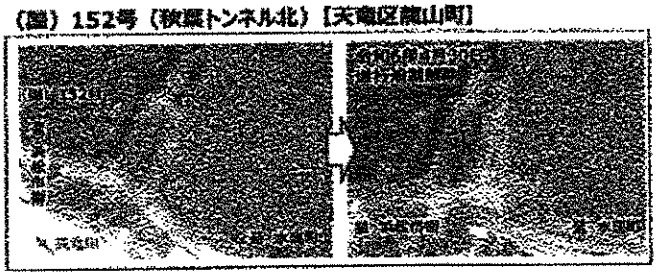
＜令和5年6月2日・台風2号に伴う豪雨による被害状況＞



線状降水帯の発生状況



（国）152号（秋葉トンネル北）【天竜区龍山町】



（主）天竜東栄線【天竜区長沢】

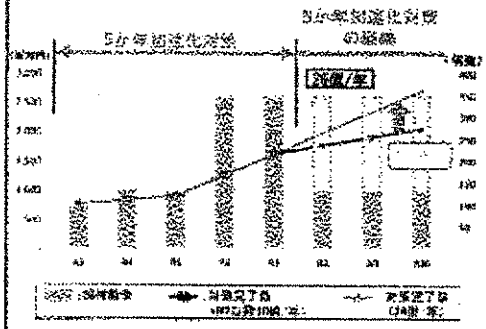


防災・減災、国土強靭化の推進

1．国土強靭化実施中期計画の推進に必要な予算を別枠で確保するとともに、災害リスクや地域特性を考慮した予算配分とすること
- 橋梁耐震化の加速化を図るために必要な予算の確保
- 無電柱化の着実な推進に必要な予算の確保

＜橋梁耐震化対策＞

浜松市では緊急輸送道路に加えて災害対応拠点等までのラストワンマイルを含んだネットワークの強靭化を目指し、これらネットワーク上の全ての橋梁を対象とし、361橋の耐震化を推進（R13年度対策完了予定）。

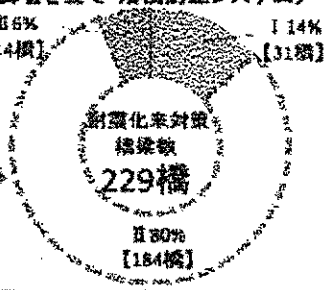




対策済：132橋（37%）
(R6年度末)

対策費用
約120億円必要

橋梁の耐震補強
（橋脚巻き立て・落橋防止システム）



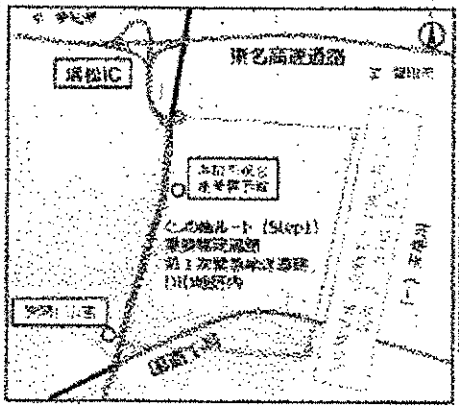
耐震化未対策橋梁の健全性分布

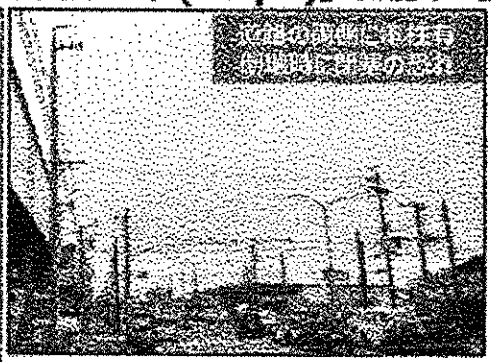
橋梁修繕の着実な措置が進められていることから、耐震化未対策の229橋のうち、約80%が健全性Ⅱの状況。

「救援する緊急輸送道路とするには、橋梁の修繕と合わせた橋梁の耐震化を加速化するための予算確保が必要

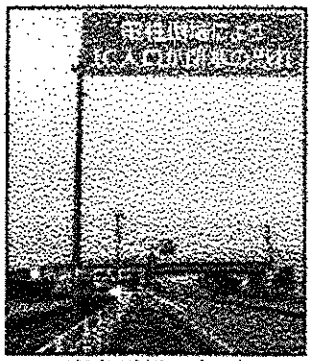
＜無電柱化対策＞

【市管理道路で唯一の「くしの歯ルート(Step1)」において無電柱化を推進】





（主）浜松環状線の現在の状況



東名浜松IC付近

[redacted]

防災・減災、国土強靭化の推進

・道路斜面対策事業の加速化に必要な予算の確保
・事後保全の予算確保の継続及び、予防保全型メンテナンスへの早期転換に必要な予算の確保

＜道路斜面対策＞

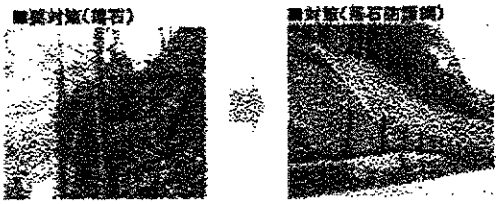
道路斜面対策 177箇所

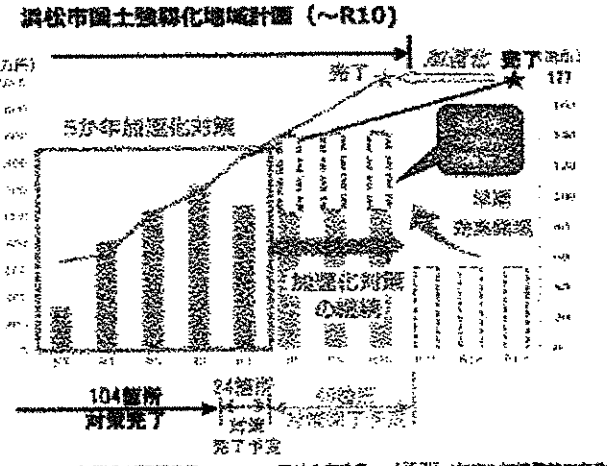
対策済:104箇所（59%） （R6年度末）

未対策斜面箇所を早期対策済み必要

対策費用 約48億円必要

※今後の点検により対策が必要な箇所が増える可能性あり

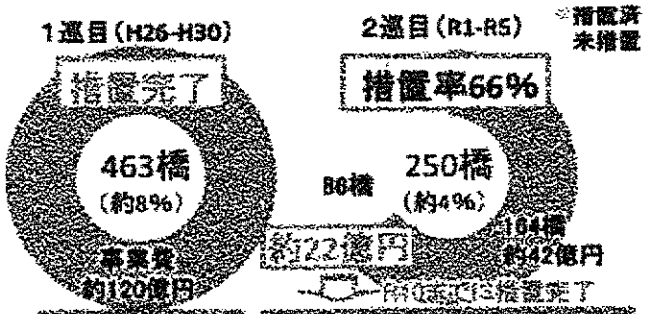




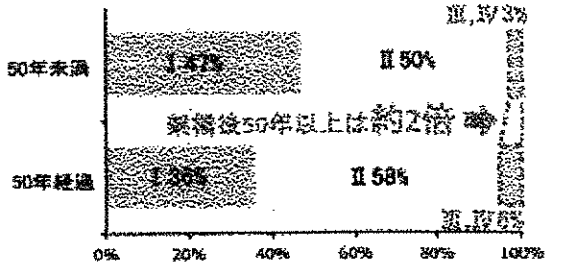
道路斜面対策の加速化には、継続的な予算確保が必要

＜道路インフラ老朽化対策（橋梁）＞ ※管理橋梁数：5,773橋

【健全性Ⅲ・Ⅳ橋梁措置状況 (R6年度末)】

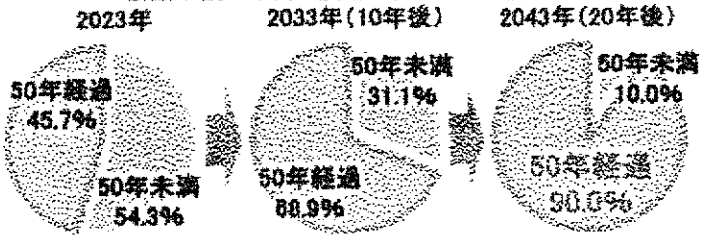


【建設から50年以上経過した道路橋の健全性】



架橋後50年以上の経過した橋梁の健全性低下が顕著
健全性Ⅱ以下の割合は、50年未満に比べて2割増、健全性Ⅲの割合は2倍

【道路橋の現状（建設年次分布）】



「予防保全型インフラメンテナンス」への早期転換には、更なる予算確保が必要

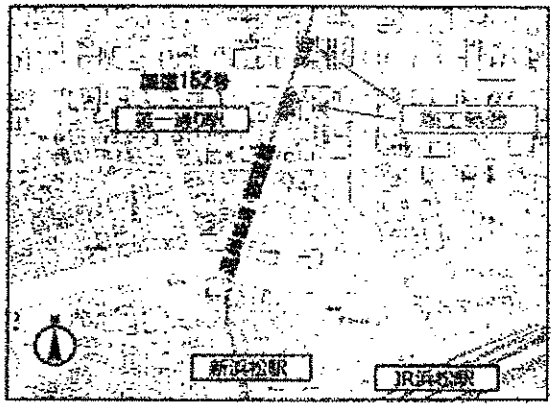
国に対する要望事項

浜松市　NO. 9

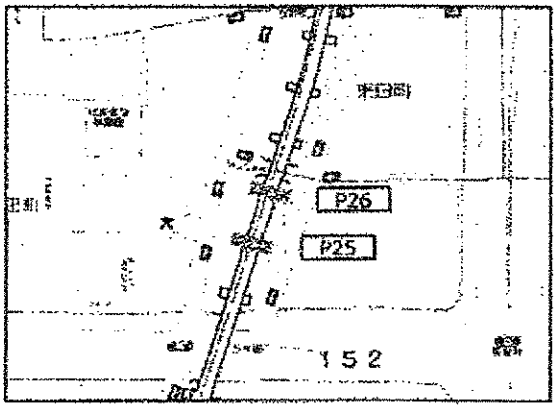
国の所管	国土交通省　鉄道局　施設課　　財務省　　内閣府
市の所管	都市整備部　交通政策課
事項名	遠州鉄道鉄道線耐震化事業への財政支援について
要　旨	**（要望内容）** 遠州鉄道鉄道線は本市の基幹路線であり、都心と地域拠点等を結ぶ公共交通機関として重要な役割を担っています。さらに鉄道高架下は鉄道利用者や中心市街地を行き交う市民で賑わう空間であり、南海トラフ巨大地震により橋脚が倒壊した場合には、公共交通機関への影響だけではなく道路、河川や近接する民間建築物に甚大な被害が予想されます。 鉄道高架橋の耐震化を実施することは、公共交通機関を維持確保するだけでなく、その高架下を利用する多くの市民などの安全と幹線道路や河川機能を確保することとなり、都市機能全体を維持するうえで必須です。 そのため、事業主体である遠州鉄道株式会社が実施する「遠州鉄道鉄道線耐震化事業」について、計画的かつ着実に進められるよう、必要な予算を確保するよう要望します。

遠州鉄道鉄道線耐震化事業への財政支援

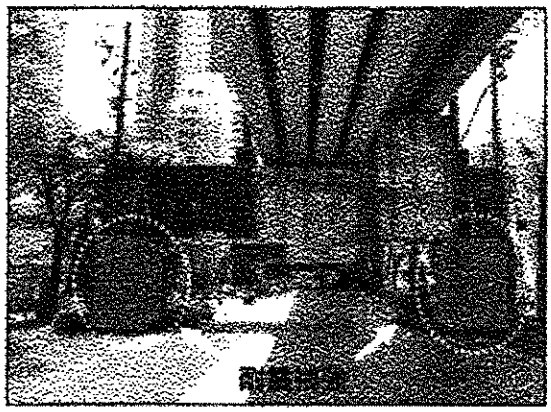
■施工位置図

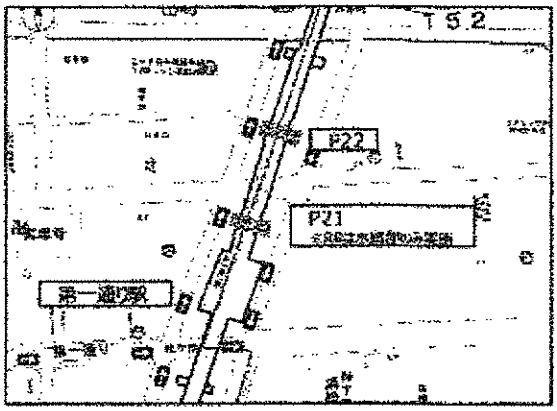


■拡大図



■耐震化(P22橋脚)



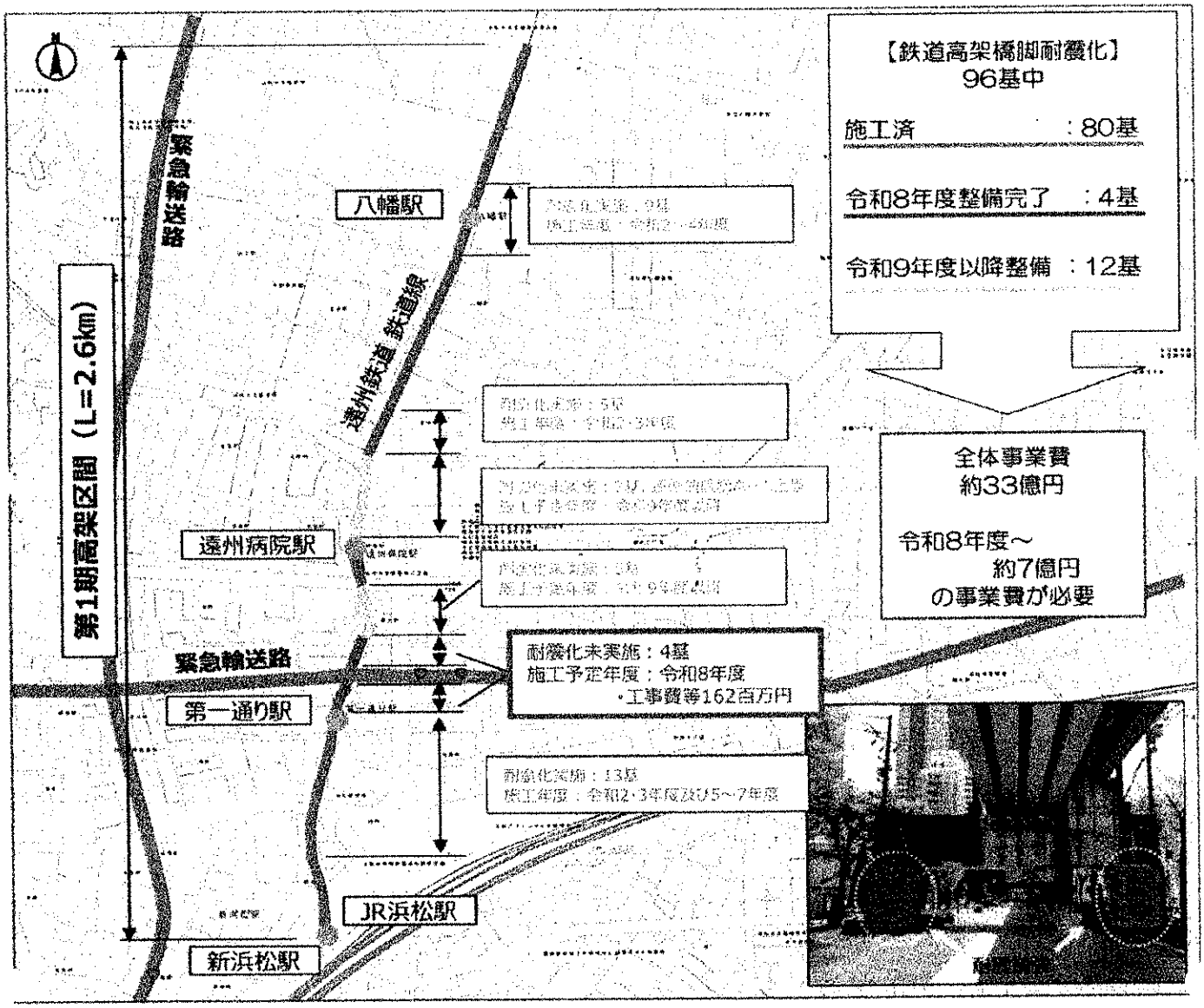


耐震補強は、門型橋脚補強4基が整備対象

耐震化事業費
R8工事費：約1.7億円

引き続き予算確保をお願いしたい

遠州鉄道鉄道線耐震化事業への財政支援



○耐震化状況

- 遠州鉄道鉄道線連続立体交差事業は、第1期高架事業（昭和60年度完成）、第2期高架事業（平成25年度完成）を実施
- 南海トラフ巨大地震に備え、第1期高架区間の耐震化は緊急性を要する
- 橋脚96基のうち、令和7年度末までに80基完了し、16基の耐震化が未整備
  （施工済：80基、令和8年度整備：4基、令和9年度以降整備：12基）

○R8予算要望内容

- 耐震化事業費　　**約1.7億円**（橋脚4基）

引き続き予算確保をお願いしたい

国に対する要望事項

浜松市　NO. 10

国の所管	国土交通省　水管理・国土保全局　　財務省　　内閣府
市の所管	土木部　河川課
事項名	流域治水への財政支援について
要　旨	**（要望内容）** 本市で実施する「流域治水プロジェクト2.0」の対策メニューを計画的かつ着実に推進するため、継続的な補助事業等への予算確保を図るよう要望します。 特に市内で大きな浸水被害がたて続けに発生しており、令和４年９月の台風15号では市内一円で警戒レベル５緊急安全確保が発令され、近年最大となる約２千棟の家屋浸水被害となりました。また、令和５年６月には、台風２号に伴う豪雨により、五反田川の越水や、九領川流域などにおいて、浸水被害が発生しました。 激甚化・頻発化する自然災害から命と暮らしを守るため、一刻も早い河川整備や貯留機能確保等の流域治水対策を行えるよう、国土強靱化実施中期計画の着実な推進に必要な予算を別枠で確保するとともに、災害リスクや地域特性を考慮した予算配分とするよう要望します。。 また、「緊急自然災害防止対策事業債」の期間を延長し、流域治水対策を引き続き強力に支援するよう要望します。

流域治水への財政支援

1．国土強靭化実施中期計画の推進に必要な予算を別枠で確保するとともに、災害リスクや地域特性を考慮した予算配分とすること
2．「緊急自然災害防止対策事業債」の期間延長

■令和4年9月 台風15号　等

■令和5年6月 台風2号に伴う豪雨



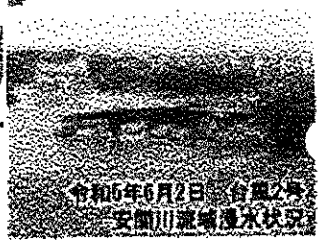


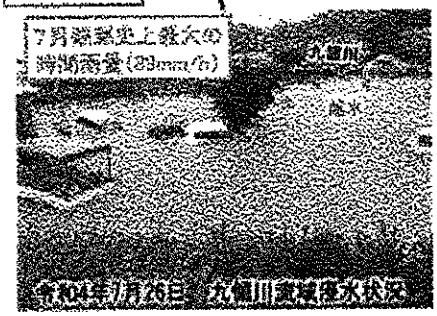


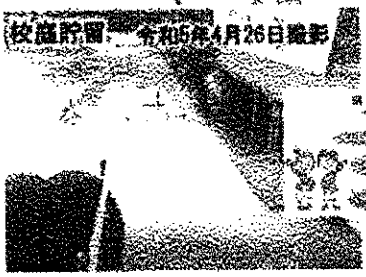














近年、甚大な水被害となった令和4年台風15号や令和5年台風2号などを、流域治水対策を含む自然災害による被害と捉えるには、必要な予算確保及び継続的な予算の措置が必要

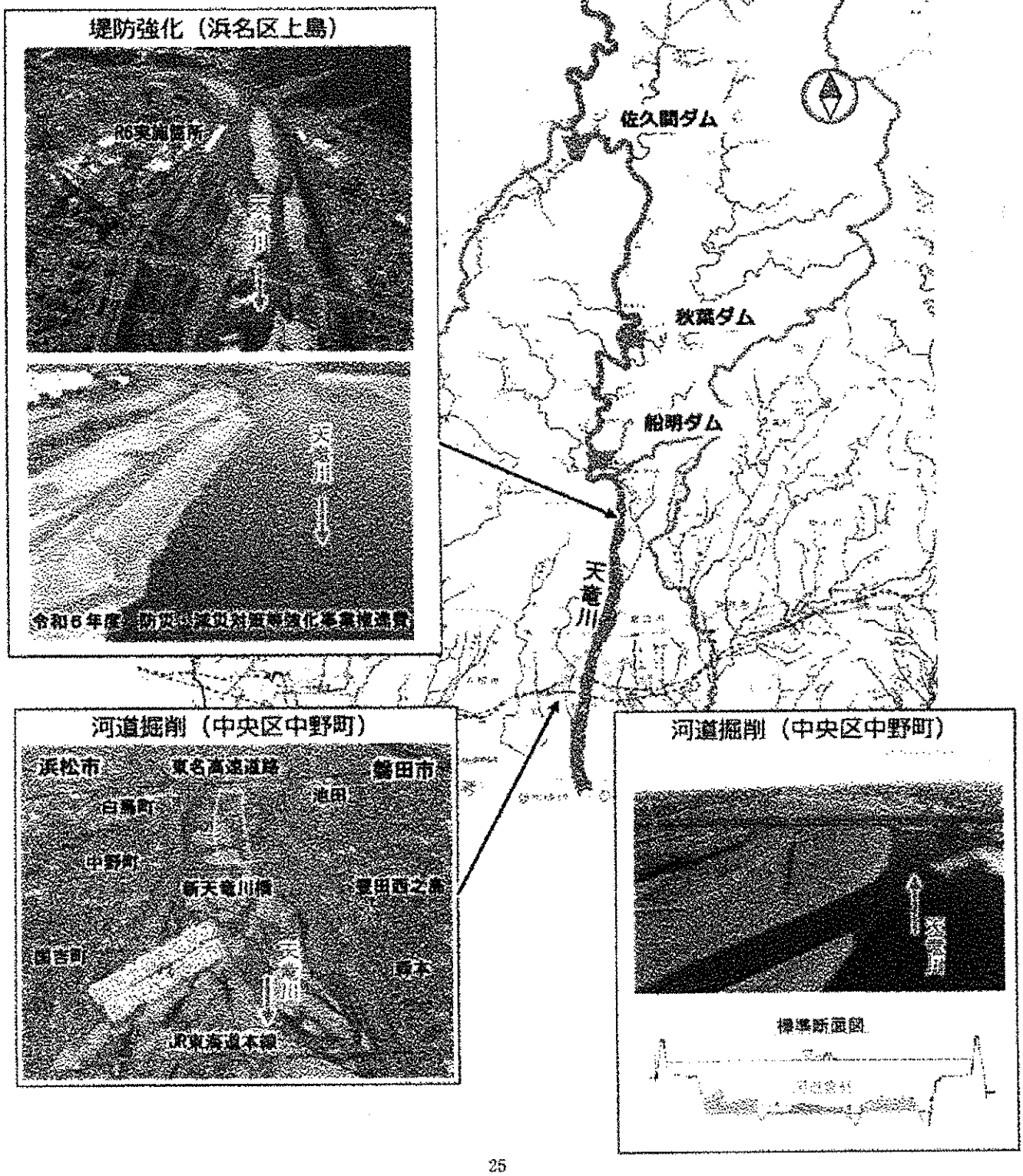
国に対する要望事項

浜松市　NO. 11

国の所管	国土交通省　水管理・国土保全局　　財務省　　内閣府
市の所管	土木部　河川課
事項名	天竜川の河川事業の促進について
要　旨	**（要望内容）** 「天竜川（下流）水系流域治水プロジェクト2.0」の対策メニューに位置付けられた天竜川の堤防強化や河道掘削、樹木伐採など、必要な予算を確実に確保するとともに更なる河川事業の促進及び加速化を図るよう要望します。 また、河道掘削で発生した土砂は遠州灘海岸侵食抑制のための養浜事業へ活用し、静岡県が継続的に実施している養浜事業に対して助成を図るよう要望します。 さらに、大規模自然災害発生時において自治体職員だけでは対応が困難な場合に、被災した自治体の支援を行う「ＴＥＣ－ＦＯＲＣＥ」の体制・機能の拡充・強化を図るよう要望します。

天竜川の河川事業の促進

「天竜川（下流）水系流域治水プロジェクト2.0」の対策メニュー
1．治水事業全体の必要な予算確保
2．堤防強化や河道掘削などの河川事業の促進及び加速化
3．ＴＥＣ－ＦＯＲＣＥの体制・機能を拡充・強化



国に対する要望事項

浜松市　NO. 12

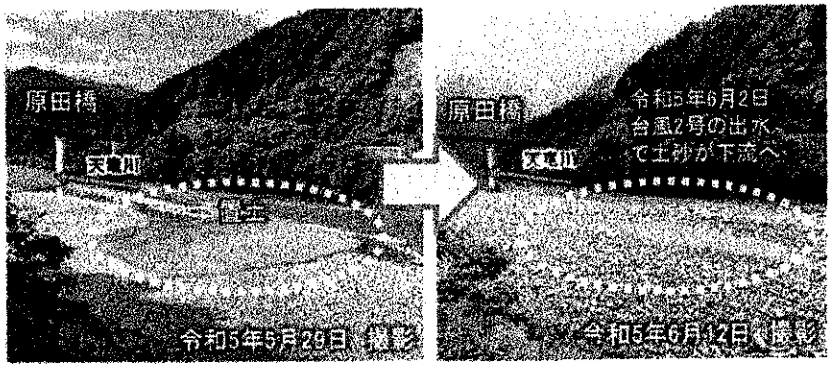
国の所管	国土交通省　水管理・国土保全局　　財務省　　内閣府
市の所管	土木部　河川課
事項名	天竜川ダム再編事業の促進について
要　旨	**（要望内容）** 佐久間ダムの集水面積は天竜川流域全体の約75%を占めています。これまで利水専用ダムであった佐久間ダムへ新たに洪水調節機能を確保することは天竜川中下流部の治水対策の要です。 また、ダム貯水池への堆砂を抑制する恒久的な堆砂対策を実施することにより、土砂移動の連続性が確保され、遠州灘海岸の侵食抑制にも効果が期待できます。 「天竜川（下流）水系流域治水プロジェクト2.0」の対策メニューに位置付けられた天竜川ダム再編事業の促進及び加速化を図るよう要望します。

天竜川ダム再編事業の促進

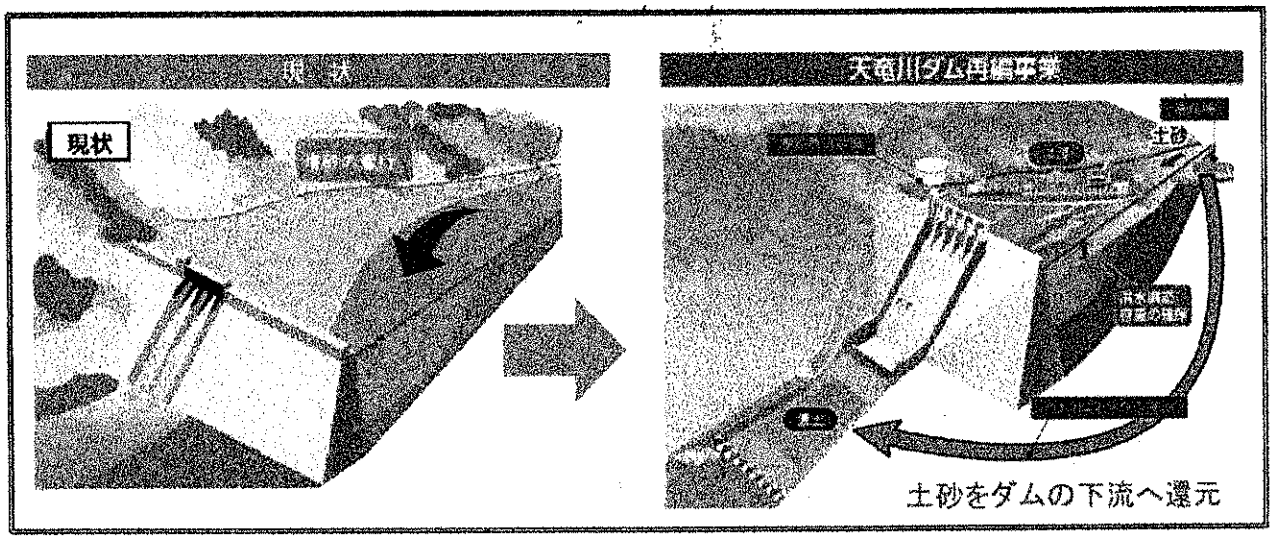
「天竜川（下流）水系流域治水プロジェクト2.0」の対策メニュー
- 佐久間ダムの洪水調節に必要な施設及び恒久的な堆砂対策施設の整備を促進し、早期に洪水調節及び土砂移動の連続性を確保



ダム下流工事道路の整備

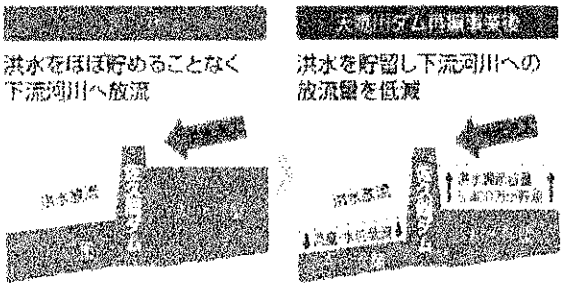


置土による土砂還元等を実施



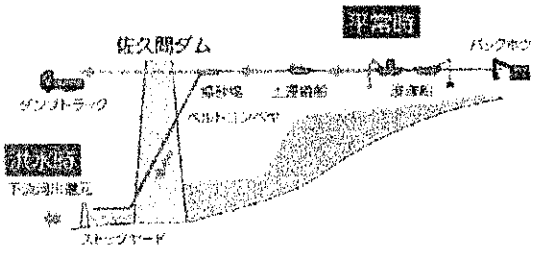
洪水調節

上流域の大雨による洪水をダムへ貯めることにより、下流河川を流れる洪水量を減らして、河川からの溢れや、堤防が壊れることを防ぐ。



恒久的な堆砂対策

平常時にダム発生土をダム下流側のストックヤードに運搬・集積して、洪水時にダム放流水を利用し、河川へ還元することにより、遠州灘海岸の侵食を抑制する。



防衛省

令和７年９月１７日

令和８年度予算に関わる

要　望　書

小中学校体育館への空調・防音整備に係る
交付金制度の見直しについて

浜松市議会 自由民主党浜松

国に対する要望事項

浜松市

国の所管	防衛省
市の所管	市民部　市民生活課　　危機管理監　危機管理課 学校教育部　教育施設課
事項名	小中学校体育館への空調・防音整備に係る交付金制度の見直しについて
要　旨	**（要望内容）** 小中学校体育館の教育環境改善および地域における避難所機能の強化を図るため、浜松市では、今後の国の制度活用を見据えながら、空調設備の導入に向けた可能性調査を進めています。あわせて、PFI（民間資金活用）なども含めた整備手法の検討も進めています。 一方で、第一種区域内にある体育館については、現行の「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第８条」の民生安定助成事業（防音助成）の対象でないため、空調や防音といった基本的な環境整備が進みにくい状況です。防衛省の令和６年度（2024 年度）概算要求では、学校体育館などを「国民保護法」に基づく特定臨時避難施設として活用する方針が明記されており、防衛白書にも記載されています。 特に、防音区域内の体育館においては、避難所としての機能を十分に発揮するため、空調設備に加えて防音対策の実施が不可欠である。よって以下について要望します。 ・第一種区域内にある体育館を「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第８条」の民生安定助成事業（防音助成）の対象とすること ・「教育・避難機能を有する学校体育館」を交付金の適用対象として明文化すること ・地域防災機能強化の観点から、空調および防音設備整備に対する柔軟な補助適用を推進すること
参　考	

警察庁

令和７年９月１７日

令和８年度予算に関わる

要　望　書

外国人運転者に対する交通安全対策の強化
及び制度整備について

浜松市議会 自由民主党浜松

国に対する要望事項

浜松市

国の所管	警察庁
市の所管	土木部　道路企画課
事項名	外国人運転者に対する交通安全対策の強化及び制度整備について（新規）
要　旨	**（要望内容）** 令和７年10月１日より、外国人による運転免許取得に関する制度の厳格化が国において施行されます。これは、外免切替制度における技能試験免除国の見直し、筆記試験の内容強化、居住実態の厳格な確認などを含むものであり、交通安全の確保と制度の公平性向上を目的とした重要な改革となります。 この制度改正は、近年の訪日外国人旅行者の増加、在留外国人の定着化、そして外国人運転者による交通事故の増加傾向を背景としており、国の責任において交通安全政策を再構築するものであります。そして、内閣府「第12次交通安全基本計画（骨子案）」（令和８年３月策定予定）、観光庁「観光立国推進基本計画」（令和５年３月閣議決定）として位置づけられています。 加えて、令和６年度より施行された労働法改正により、トラック運転者の労働時間に関する「改善基準告示」が適用され、運送業界では深刻な人手不足が顕在化しています。 これを受け、外国人労働者の受け入れが特定技能制度等を通じて進められており、今後、外国人トラック運転者の増加が見込まれます。交通安全の確保と制度整備は、観光分野のみならず、物流・運送分野においても喫緊の課題であり、地域現場、特に自動車教習所、行政窓口、交通安全教育の担い手では、新たな対応が求められます。 よって、以下のとおり要望いたします。 記 １　外国人運転者に対する交通安全教育の体系化 (1) 交通ルール・マナーに関する教材の多言語整備 (2) 外国人向け講習プログラムの開発と地域実施支援 ２　自動車教習機関における外国人指導体制の強化 (1) 教習所における多言語対応指導者の育成・配置支援 (2) 外国人受講者向け教習カリキュラムの整備 (3) 教習所と自治体との連携促進

E090

支払証明書

		百万	十万	万	千	百	十	円
金　額					¥	4	3	0

但し　代議士宛　国会要望書　郵送（レターパック）　代金として

浜松市中区元城町 103－2
ファミリーマート浜松市役所店

FamilyMart
浜松市役所ＮＳ店
静岡県浜松市中央区元城町１０３番地の２
電話：053-460-0650

登録番号：T2080401027226

領　収　証

浜松市議会 [redacted] 民主党浜松 [redacted]

¥４３０－

非課税品　¥430

但し　レターパック代

上記正に領収いたしました

<本証取扱い上のお願い>
財布等に入れ保管される場合、印字面を内側に折って保管して下さい。

ﾚｼﾞ 1-4915　　責No.013

上記の金額を支払ったことを証明します。

令和 7 年 9 月 18 日

代表者名　平野　岳子 [redacted]

（様式６）

E1001

旅　費　支　払　証　明　書

出張年月日	令和７年１０月７日（火）　１日間			
出張先（目的）	静岡県庁　令和８年度予算 県要望　【副知事・県会議長　要望書提出】 （企画部・くらし・環境・経済産業・交通基盤・警察本部等　各部局）			
出張者氏名	平野　岳子	久米　丈二	井田　博康	
	齋藤　和志	辻村　公子		（計５名）

旅　費　額　内　訳

項　目	金　額	備　考
交通費	２３，３００円	ＪＲ新幹線切符代　浜松ー静岡　往復　５名分 @2,330円×2×5名分 （往復料金@4,660円×3名＝13,980円＋@4,660×2名＝9,320円）
〃	２，０７０　円	往路 タクシー代実費　①②静岡駅ー静岡県庁　@660円×2台＝1,320円 復路 静鉄バス乗車代　「県庁前」～「静岡駅」　@150円×5名分＝750円
日　当	７，５００　円	@　１，５００　円　×　１日　×　５名分
合　計	３２，８７０　円	

金　額		百	拾	万	千	百	拾	円
			¥	3	2	8	7	0

上記の金額を政務活動費として支払ったことを証明します。

令和７年１０月８日

代表者　会長　平野　岳子　[redacted]

〈詳細〉

ＪＲ切符代・タクシー代　領収書添付

行程

12:35　新幹線　タクシー(2台)　静鉄バス　新幹線　16:40
市役所／浜松駅 13:17発 ＝ 13:37着 静岡駅 … 静岡県庁 ― 静岡駅15:52発 ＝ 16:19着 浜松駅／市役所

浜松→静岡　新幹線　往復チケット代

@2330円 × 2 × 5名 = 23300円

（13980円 + 9320円）

領収書 浜松市議会 自由民主党議員会 様

Receipt

領収年月日　2025.10.-7　登録番号：T3180001031569

金額　¥13,980（消費税等込み）　内10%

上記金額確かに領収いたしました

購入商品　JR乗車券類

（50838　12枚）

東海旅客鉄道株式会社

浜松駅MV3発行　60839-01

印紙税申告割
付につき名古屋中村
税務署承認済

領収書 浜松市議会 自由民主党議員会 様

Receipt

領収年月日　2025.10.-7　登録番号：T3180001031569

金額　¥9,320（消費税等込み）　内10%

上記金額確かに領収いたしました

購入商品　JR乗車券類

（10841　8枚）

東海旅客鉄道株式会社

浜松駅MV3発行　20842-01

印紙税申告割
付につき名古屋中村
税務署承認済

静岡駅 → 静岡県庁　イケニ 2名

（往+復）@660円 × 2名 = 2640円

①

領収書

2025年 10月 07日

車両番号　0234

運賃　¥660円

乗車料金合計　¥660円

合計　¥660円

（適用税率 10%）

静岡ひかりタクシー(株)

静岡市葵区北番町三の一の五

☎ 054-271-1122

登録番号:T2080001004382

②

領収証

現・チ・ク・割引　No. 1659

日付　2025年 10月 07日

車番　000227　0000

基本運賃　¥660円

合計　¥660円

上記の様に領収致しました

消費税率　10%

株式会社 駿河交通

電話 054-283-2161

静岡市駿河区登呂2丁目19-16

毎度ご乗車ありがとう御座います

登録番号

T4080001002380

（様式８）

令和７年１０月２日

会派名　浜松市議会　自由民主党浜松
代表者　平野　岳子　様

会派名　浜松市議会　自由民主党浜松
氏　名　井田　博康 [redacted] ㊞

出　張　届

下記により、政務活動のため、出張することになりましたので届け出ます。

記

１　出張者　平野　岳子　久米　丈二　井田　博康
齋藤　和志　辻村　公子　（計　５名）

２　期間及び出張先　令和　７　年　１０　月　７　日（火）
静岡市葵区追手町9-6
静岡県庁

３　目的
令和８年度予算に係る　県要望・調査

視察依頼書送付願

令和　年　月　日

浜松市議会議長　　様

会　派　名　浜松市議会　自由民主党浜松
代表者氏名　　㊞

上記のとおり、所属議員が政務活動のため、出張することになりましたので、視察先あての視察依頼書の送付をお願いします。

（様式８）

自由民主党浜松 県要望 日程表

◆陳情日程　令和 7 年 10 月 7 日（火）

◆要 望 先　静岡県庁

◆視察議員　平野 岳子 議員、斎藤 和志 議員、 久米 丈二 議員、
井田 博康 議員、 辻村 公子 議員　（計５名）

◆集合時間　１０月 7 日（火）　浜松市役所 会議終了後 集合・出発

10月7日（火）	浜松駅 🚄ひかり506号 静岡駅 タクシー2台 13:17 ＝＝＝＝＝ 13:37 ――― 13:50 静岡県庁 ※ 14:00 自民改革会議控室へ 会派控室～議長室へ **《県要望 ／ 意見交換》14:15 ～ 15:10** 14:15～14:30 竹内 議長 面談（於：議長室 本館３階） ※要望書提出 ＜移 動＞ 議長室～副知事議長室へ 14:40～14:50 塚本 副知事 （於：副知事室 東館５階） 14:55～15:10 平木 副知事 ※要望書提出 ※終了後静岡駅へ 🚌しずてつバス 静岡県庁 15:19 ――― 15:39 静岡駅 新幹線こだま 静岡駅 15:52 ＝＝＝＝＝ 16:19 浜松駅 … 浜松市役所	**静岡県庁** 静岡市葵区追手町 9―6 TEL：054-221-2031 FAX：054-221-2750 担当：井上氏 **自民改革会議** TEL：054-221-2566

（様式11）

E1001

令和７年１０月８日提出

（あて先）　会派名　浜松市議会 自由民主党浜松
代表者　会長　平野　岳子 様

要請・陳情活動に係る報告書

出張年月日	令和７年　１０　月７日　（火）　１日間
出張先	静岡県庁
出張の理由	令和８年度予算に係る要望・調査（各部局）
出張者 氏名印	平野　岳子 [redacted]　斎藤　和志 [redacted]　井田　博康 [redacted] 久米　丈二 [redacted]　辻村　公子 [redacted] （計５名）

（出張の顛末）

1　要請・陳情先
　静岡県庁．

2　要請・陳情内容
　別紙の通り．

3　要請書・陳情書の有無
　㊀有　・　無　※有の場合は添付する

（備考）